

---

# Title: ウェブを使おう Netscape のインストールから自作ウェブ・ページの公開まで

学術情報処理センター 日永田 泰啓

この文章の目的は、

1. ウェブ・ページを見るための [ブラウザのインストール](#)
2. [ブラウスの仕方](#)
3. 簡単な [ウェブ・ページの作り方](#)

を、Netscape を対象として分かりやすく解説することである。できるだけ短い手順で（簡単な）自作ウェブ・ページをネットワークに公開できるようにする。これが最終目的である。そのため、最小限の事柄以外の解説を省いている。

ブラウザのインストールから始める人は 1 節の [ブラウザのインストール](#) から、インストールはされているが使ったことはないという人は 2 節の [ブラウスの仕方](#) から、ウェブページの作り方だけが知りたい人は 3 節の [ウェブ・ページの作り方](#) から、読んでください。

なお、本稿のオンライン版（PDF版；学術情報処理センターのページ（[www.cc.saga-u.ac.jp](http://www.cc.saga-u.ac.jp)）からリンクされる予定）はクリックابلに作ってあるので、紙版よりは少しだけ読む上で便利が良いだろう。本稿に訂正等があれば、このPDF版に反映させるか、学術情報処理センターのページ（もしくはそこからリンクされる場所）でお知らせしたいと思う。

---

## 1 ブラウザのインストール

ブラウザとして Netscape ver.4.78 を Windows98 にインストールしてみよう（Windows 2000 においてインストール権限を持つユーザがインストールする場合も同様だろうと思われる）。

本マニュアルにおいては Netscape ver.6 は扱わない。この理由の一つは、ver.6 は、自作ウェブ・ページを "upload"(ver.4 では「出版」と呼んでいる)する機能が無いため、初心者向けの説明には適さない、というものである。どうしても ver.6 を使いたい人は、自作ウェブ・ページを upload するために、フリーの ftp ソフトなどを使って欲しい。

なお、学術情報処理センターの演習室においては（Netscape ver.4.78 ではなく）Netscape ver.6 が install されている。しかし、upload は前システムと同様に簡単にできるようになる予定である（自作ウェブページの upload は、特定のフォルダーにドロップすることで可能になる予定）。演習室で Netscape ver.6 を使う際の簡単なマニュアルは、システムが整い次第、自作ウェブ・ページ置き場（ウェブ・サーバー）のトップページに置く予定である。

### 1.1 ダウンロード してくる

Netscape のダウンロードページ（たとえば [http://home.netscape.com/ja/download/download\\_comm.html?cp=ijadwnnojs](http://home.netscape.com/ja/download/download_comm.html?cp=ijadwnnojs)）から、日本語対応製品で、かつ Windows 98用の Netscape Communicator (ver.4.78) をダウンロードしてくる。筆者がダウンロードして来たときは、cc32d478.exe というファイル名であった。

### 1.2 インストーラーを起動する。



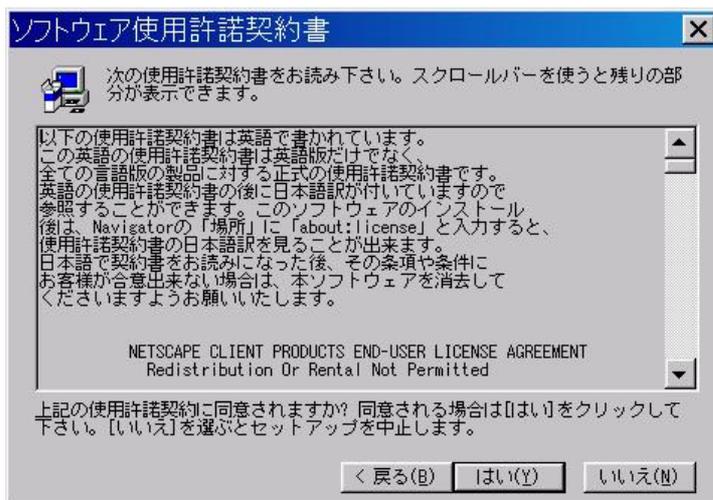
ダウンロードしてきたアイコン  をダブルクリックする。すると、次のような画面が現れる。



ここに書かれているように、他のプログラムを終了させた方が良からう。

終了させていて準備万端な場合は「次へ」を選ぶ。

### 1.3 ソフトウェア使用許諾契約書

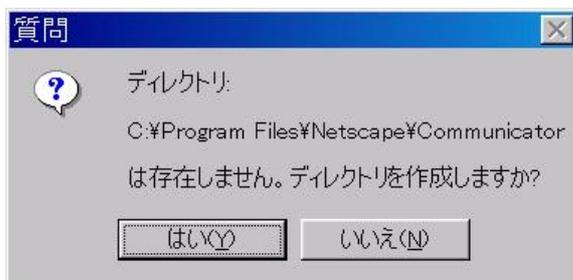


という画面が現れる。この使用許諾契約を読んで同意できるなら「はい」を選ぶ。

### 1.4 セットアップ方法



初心者はここで「標準」の方を選び「次へ」をクリックする。ここで、もし、「インストール先のディレクトリ」が存在しなかった場合は、



というパネルが現れるので、問題なければ「はい」と答える。

## 1.5 デスクトップの設定オプション

次の「設定オプション」を選ぶには少しだけ考えた方がよい。インストール直後の使用環境に影響するからである。だが考え過ぎる必要は無い。後で設定を変更可能である。

参考までに、筆者の選択と選択理由を挙げると.....

html 文書は Netscape で見る。インターネットエクスプローラーは使わない。従って、「Netscape Communicator を標準ブラウザとして使用する」にチェックマークを入れている。  
Netscape を立ちあげた時に何も表示されないように（言い換えれば、空白ページが表示されるように）後に設定するつもりである。したがって、「Netscape Netcenter をホームページにする」のチェックマークは外す。  
Web 検索には個人的好みから google.com を用いる。従って、「Web 検索に Netscape Netcenter を使用する」のチェックマークを外す。

こうして、筆者の場合は次のような選択となる。



### 1.6 プログラム フォルダの選択

インストール後に、「スタートボタン」「プログラム」から選べるように名前を付ける。特に名前を付け替えたいわけがなかったら、そのまま「次へ」を選べば良いだろう。

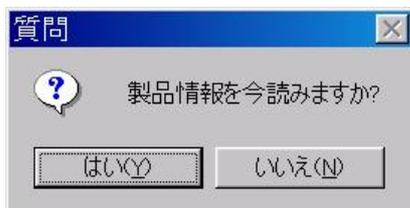


### 1.7 「ファイル コピーの開始」からセットアップの完了まで

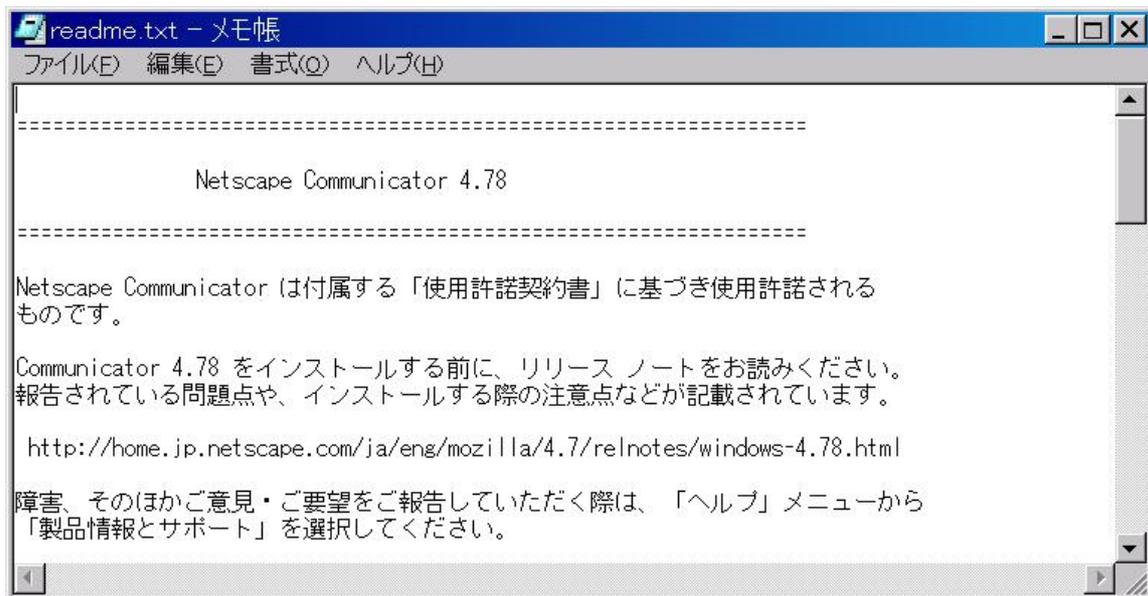
次の画面が出た時点ではまだこれまでの設定を変更できる。特に変更したくなければ「インストール」ボタンを押す。



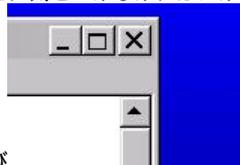
プログラムファイルのコピーが始まってしばらく待つと、



というパネルが現れる。「はい」を選ぶと、メモ帳(あるいは他のエディタかもしれない)が立ち上がる。



人によってはここに書かれていることに気をつけなければいけないかもしれないので、ざっと読むことをおすすめする。



読んだなら右上の三つのボタンの並びの「X」を押してメモ帳(あるいは各自のエディター)を終了する。

すると、「セットアップが完了しました」とのウィンドウが現れるので「OK」のボタンを押す。



## 1.8 セットアップ完了後に現れるフォルダ

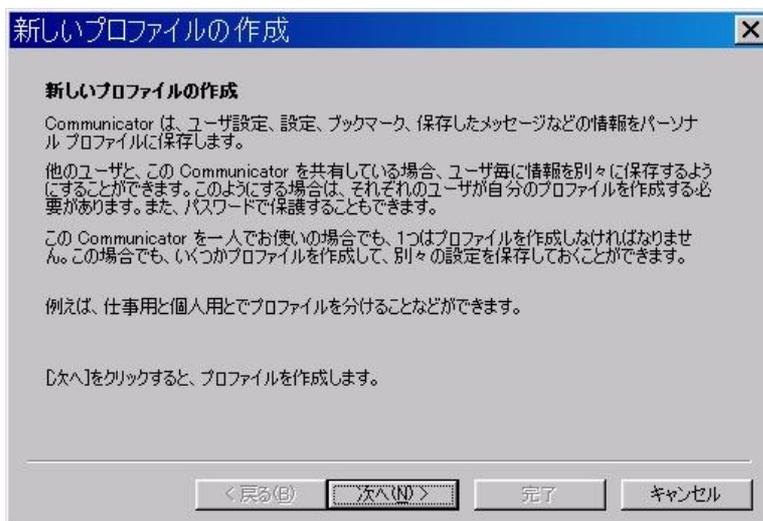
以上でインストールは終了である。上のウィンドウで「OK」のボタンを押すと、



というふうなアイコンが並んだフォルダが現れるはずである。このフォルダの中の Netscape が立ち上がるのである。

## 1.9 プロファイルの作成

というわけで、早速ダブルクリックすると、一番最初に次のようなウィンドウが出てくるかもしれない。



出てこない人は 1.13 節（「[Netscape を起動すると](#)」の節）までの間を飛ばして下さい。

### 1.10 「名前と電子メールアドレスを入力してください」

名前と電子メール アドレスを入力してください

プロフィールを作成する人の名前と電子メール アドレスを入力してください。

この情報は、新しいプロフィールの設定として保存されます。

名前:  
 (例 John Smith)

電子メール アドレス (お持ちの場合):  
 (例 jsmith@company.com)

[次へ]をクリックすると先に進みます

< 戻る(B)   次へ(N) >   完了   キャンセル

名前(と電子メールアドレス)を記入する。ここで入力した名前はどこで使われるか? たとえば、後に[ウェブ・ページの作り方](#)で作成するウェブページの中に自動的に埋め込まれるようである(他にも埋め込まれる場所があるかもしれない)。

「次へ」をクリックする。

### 1.11 「プロフィールの名前とディレクトリを指定してください」

次のウィンドウでは、2箇所入力欄がある。これらについては(とりあえずは)気にせず、そのまま「次へ」を押そう。

プロフィールの名前とディレクトリを指定してください

プロフィールを複数作成する場合は、それらは名前では区別されず、あらかじめ入力されている名前をそのまま使用するか、新しい名前を入力しなおしてください。

プロフィール名:  
 Default

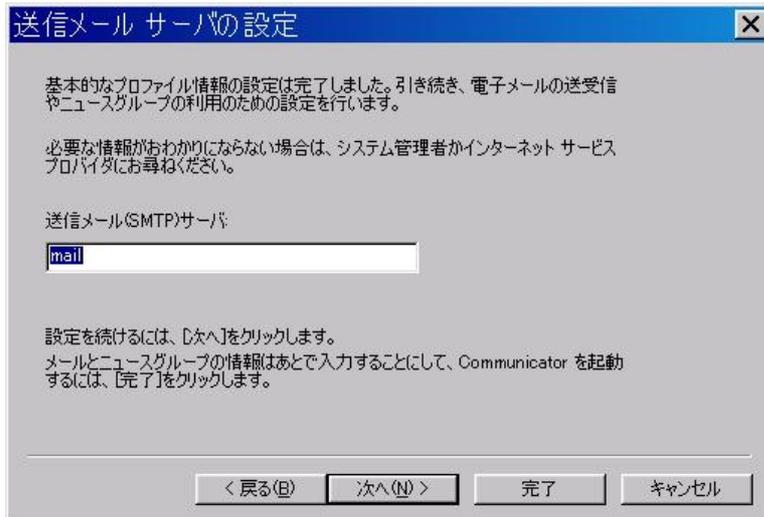
ディレクトリ:  
 C:\Program Files\Netscape\Users\defa

[次へ]をクリックすると先に進みます

< 戻る(B)   次へ(N) >   完了   キャンセル

### 1.12 送信メールサーバの設定

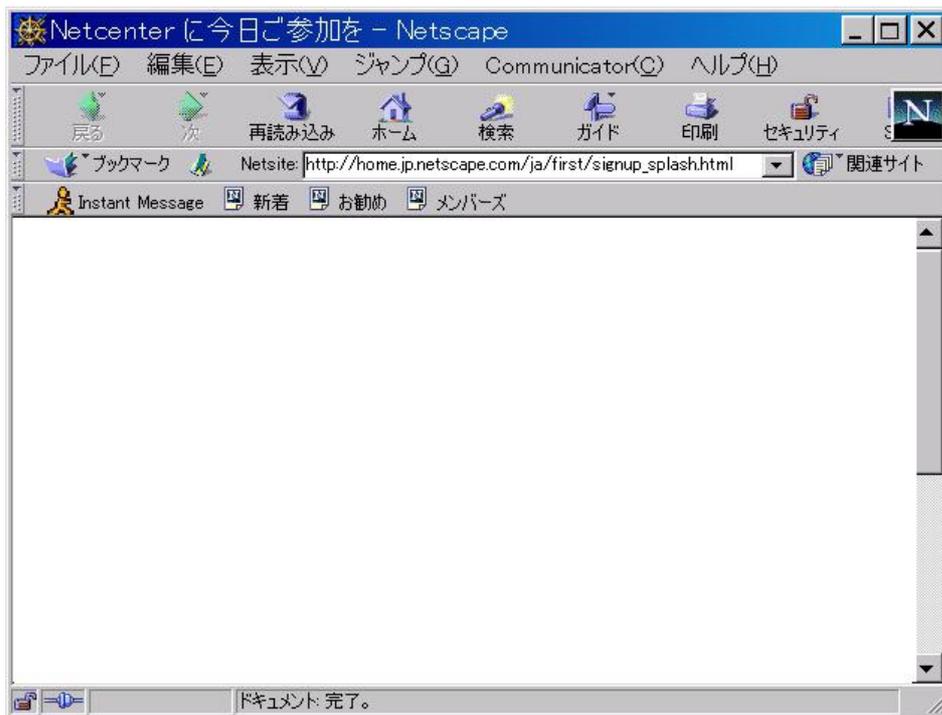
次はメール関係の設定画面である。Netscape が提供するメールソフトを使いたい場合はここも設定すべきである。しかし、その設定は本稿の範囲を越える。というわけで、ここは何も入力せず「完了」ボタンを押そう。



すると、Netscape が立ち上がるであろう。(立ち上がらない場合は、1.8 節(「[セットアップ完了後に現れるフォルダ](#)」の節)を参照して Netscape を立ち上げてください。)

### 1.13 Netscape を起動すると

Netscape が最初に立ち上がったときは、



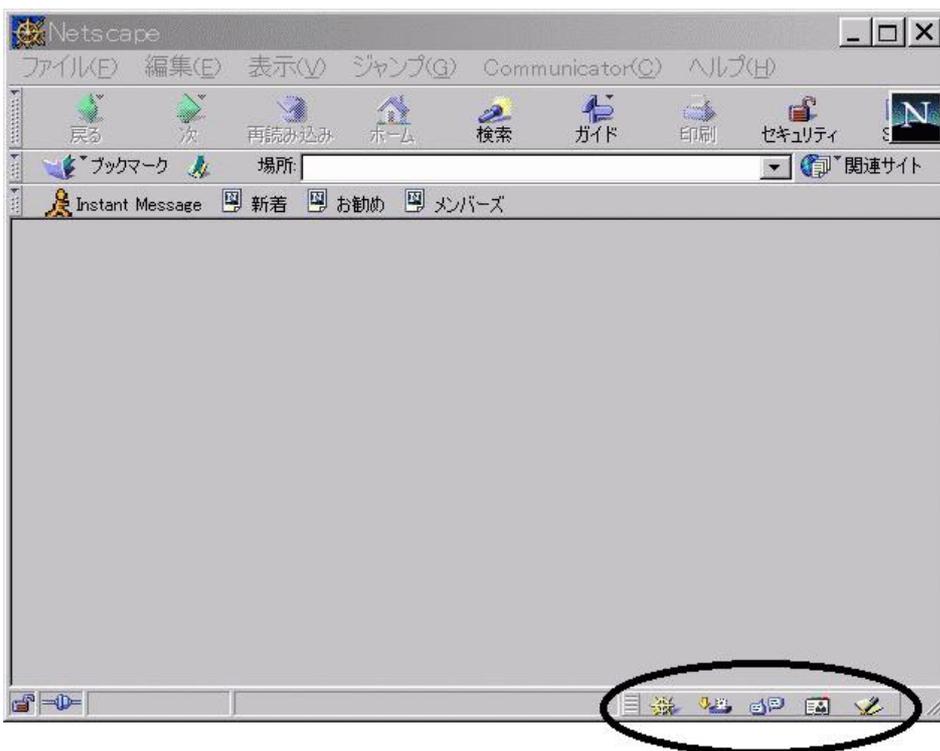
というウィンドウ(これを「**メインウィンドウ**」と呼ぶことにする)の他に、



のような小さなウィンドウ(とりあえずこれを **セレクター** と呼ぶことにする)も現れるはずである。このセレクターは、ブラウザソフトやメールソフト等を切り替えるためのものである。

### 1.14 セレクター

このセレクターを使うのも一法である。しかし、他のアプリケーションのウィンドウもたくさん開いている場合は、他のウィンドウの中に埋もれてしまう。それが嫌な人は(筆者がそうである)セレクターの右上の「x」ボタンを押して閉じてしまおうと良い。するとメインウィンドウの右下の部分(次の図の黒線で囲んだ部分)に、セレクターと同じ内容のものが現れる。



## 2 ブラウズの仕方

ではさっそくブラウザを使ってみよう。

ここでは学術情報処理センターのウェブ・ページを見たいとしよう。その為の操作を以下で述べていく。

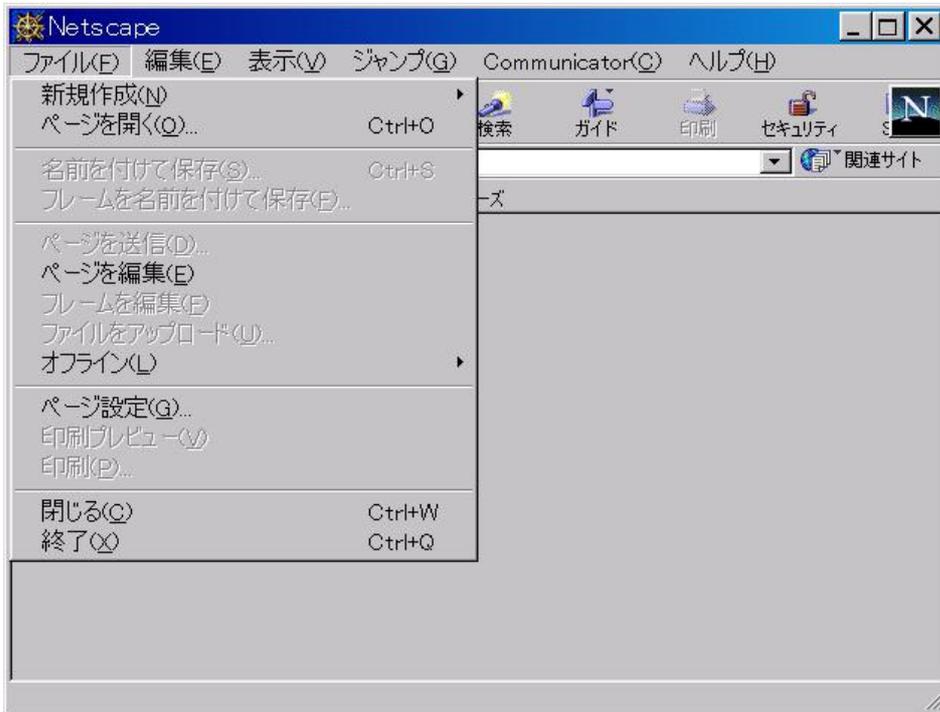
### 2.1 ブラウザの立ち上げ



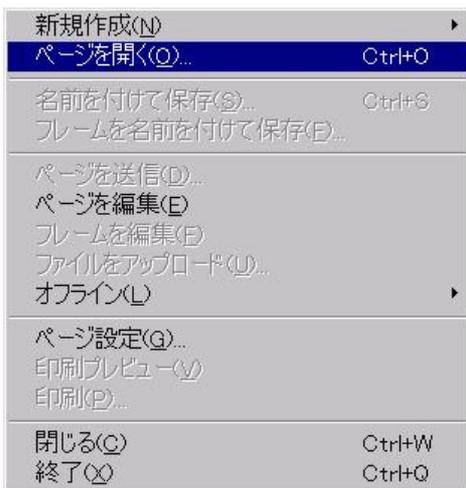
ブラウザが立ち上がっていない人は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックするなどして Netscape を立ち上げよう。

## 2.2 ページを開く

立ち上げたブラウザのウィンドウ左上の「ファイル(F)」をクリックする。メニューが下方向に開く



ので、マウスポインタを(下)に動かし、「ページを開く」まで移動しクリックする。



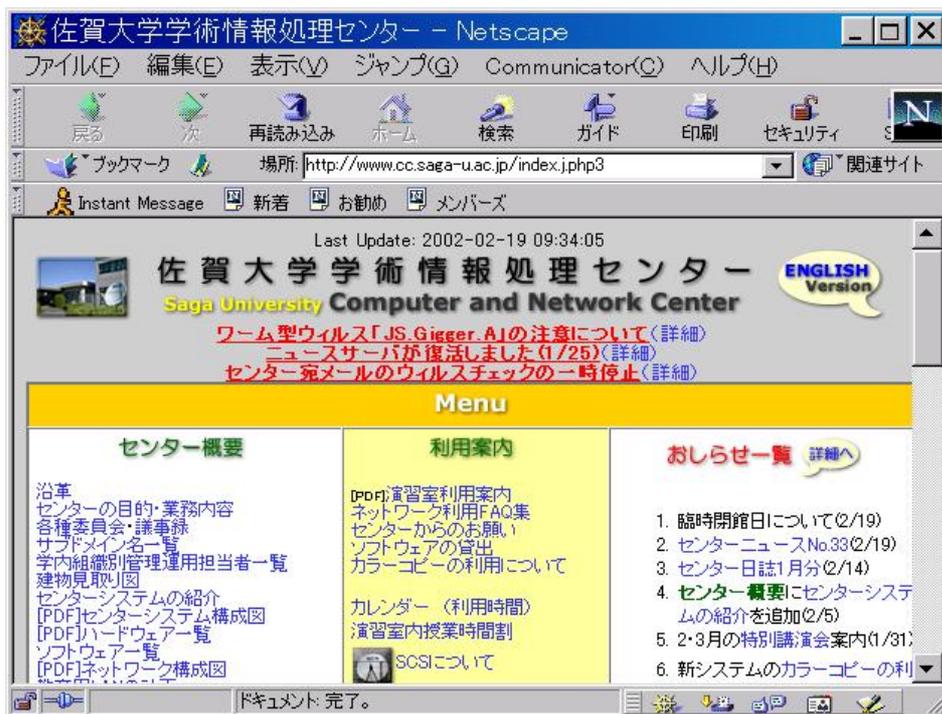
## 2.3 場所を指定して開く

「場所を指定して開く」というタイトルのウィンドウが開く。



このウィンドウの空欄に見たいウェブページのアドレス(URL)を(半角文字で!!)入れる。ここでは例として学術情報処理センターのアドレス(www.cc.saga-u.ac.jp)を入力して更にリターン・キーを押す。ここは "http://www.cc.saga-u.ac.jp" と入力しても構わない。つまり、先頭の "http://" は省略しないでも構わない。

## 2.4 めでたく望みのウェブページが開く



というページが開くはずである。

## 3 ウェブ・ページの作り方

本節では、(簡単な)自作ウェブページを作ってネットワークに公開する方法を扱う。

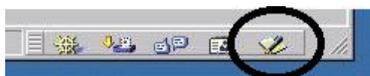
昔にお知らせしたとおり(センターニュース27号 [http://www.cc.saga-u.ac.jp/backnumbers/pdf\\_center\\_news/GN27.pdf](http://www.cc.saga-u.ac.jp/backnumbers/pdf_center_news/GN27.pdf))、佐賀大学の学生さん及び教職員は、佐賀大学内部の人に対し公開可能なウェブサーバ(自作ウェブページの置き場)を既に持っている。従って、ウェブページの作りさえマスターすれば、学内に対してはいつでも情報発信可能である。更に、2002年度前期中に学外にも公開可能な(つまり世界に向けて公開可能な)ウェブサーバが運用開始の予定である。最近では、インターネット上に無料のウェブサーバがたくさん存在する事も申し添えておく。

この節では簡単なウェブ・ページの作り方、及び、それをウェブサーバに置く方法を説明する。イキナリ高度な技をあれこれ学ぶのではなく、一番の基本だけに絞って説明する。しかし、「基本だけ」とは言っても、情報発信できるようになることには違いない。いかに簡単な操作でそれが可能になるかを見て欲しい。

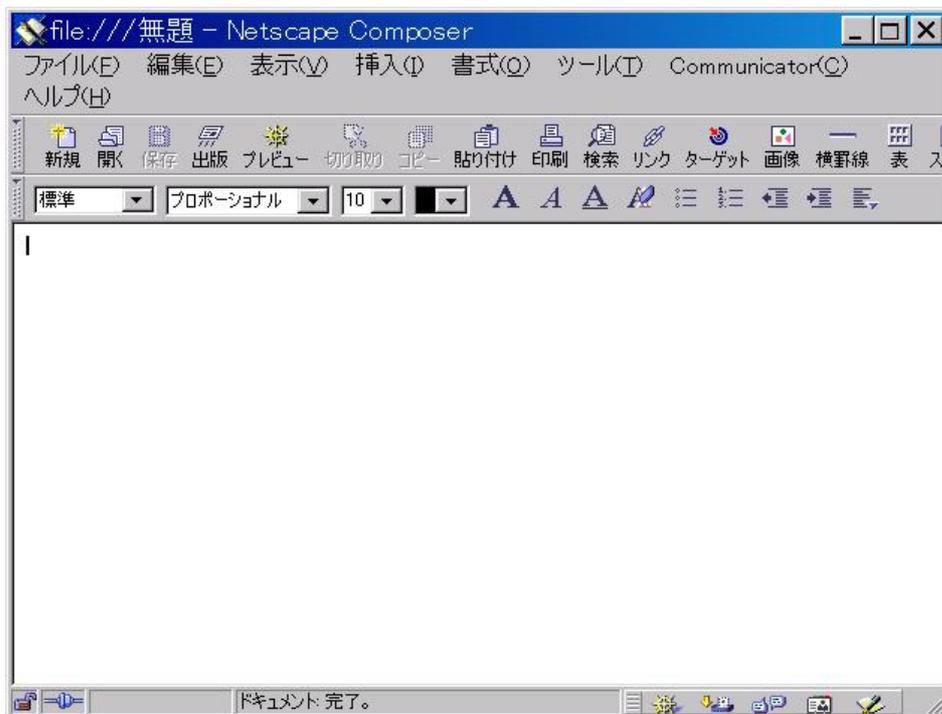
### 3.1 Composer の立ち上げ

ウェブページを作る方法にはいろいろな手段がある。本稿では先のインストール作業で組み込まれた Composer と呼ばれるソフトを使うことにする。

それには 1.14 節（「[セレクト](#)」の節）で説明したセレクト中の一 番右端のボタン(次の図の黒線で囲んだボタン)を押す。



そうすれば次のような Composer のウィンドウが立ち上がるはずである。



### 3.2 まずは短文で世界に発信！

まずは日本語で短い文を書いて、それを皆に公開しよう！！

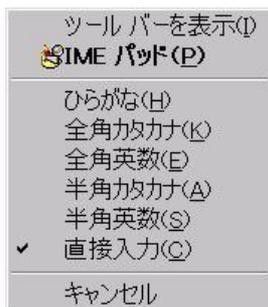
というわけで、先に立ち上がった Composer のウィンドウに何か文字を書いてみよう。

### 3.3 日本語が出ない場合は？

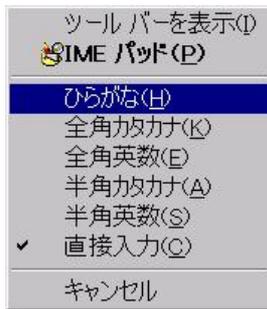
この時、日本語が出ない場合は、スクリーン右下のツールバーの「日本語変換操作に関する部分」（下の図の黒丸で囲った部分）を左クリックする（以下のツールバーに並んでいるアイコンは一例である。どんなアイコンが並んでいるかは、皆さんそれぞれの環境によって異なるだろう）。



すると以下のようなメニューが現れるだろう。



マウスを「ひらがな」まで動かしてクリックすると良い。



### 3.4 文章を書く 保存する

たとえば以下のような一文(「まずはとにかく何か文を書いてみましょう。」)を書いたとする。



皆に公開するには文章をいったんファイルに保存しないとイケない。そのためには、先の図の Composer のウィンドウの黒線で囲んだボタン  を押す。

### 3.5 名前をつけて保存

そうすると、



のようなウィンドウが開くはずである(ウィンドウの詳細は違うかもしれない)。

### 3.6 ファイル名の入力(ただし日本語ファイル名はダメ)

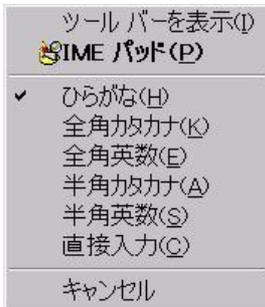
ここで好きなファイル名を入力する。ただし、注意が必要で、日本語ファイル名にはしない方がよいということである。あなたが発信する場所のシステムが、日本語ファイル名をサポートしていない可能性があるからである。

というわけで、日本語ファイル名ではなく(半角)アルファベットを使ったファイル名を入れる。その為には、ツールバーの

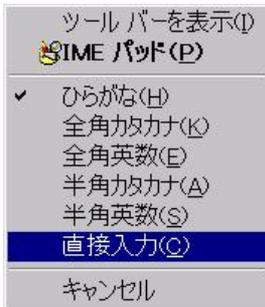
「日本語変換操作に関する部分」、すなわち、下図の黒丸で囲んだ部分



を左クリックする。出てきた



において、マウス・ポインターを移動して「直接入力」をクリックする（半角英数字を入力するときにはいつでもこの「直接入力」にすれば良い）。



「名前をつけて保存」のウィンドウで(半角)アルファベットのファイル名を入力する。入力したら「保存」のボタンを押す。（ここでは一例として、ファイル名を "a.htm" とし、デスクトップ上に保存している。）



ここでファイル名の終わり（拡張子）を ".htm" にした。この拡張子は、おまじないだと思って、とりあえず付けて欲しい。

### 3.7 ページの表題

次に「ページの表題」を尋ねられるはずである。



適切な表題を入力する。ここも半角アルファベットの表題をつけた方が安全である。安全という意味は、半角アルファベット以外にすると、他人が読む環境によっては文字化けして読めない、という意味である。半角カナも避けるべきだろう。

### 3.8 できあがりの確認

保存したらすぐに発信してみたいくなる。しかし、その前にまずは自分の環境で出来上がりを確認しておこう。



の黒丸で囲った部分のボタン (プレビュー・ボタン)  を押す。すると、次のように Netscape のウィンドウが出て、できあがりを確認できる。



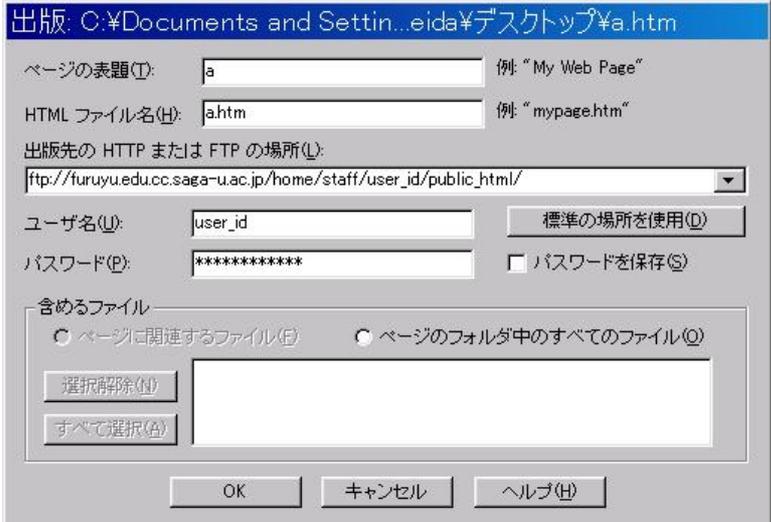
問題が無ければ次の段階へ進もう。問題があれば Composer ウィンドウへ戻って修正し、再度できあがりのチェックをしよう。

### 3.9 いよいよ「出版」！！

では、発信するために、ウェブサーバ (自作ウェブページ置き場) へファイルを置こう。これを Composer では「出版」と読んでいる。



の、黒線で囲んだ「出版」というボタン  を押す。



出版: C:\Documents and Settings\aida\Desktop\%a.htm

ページの表題(T):  例: "My Web Page"

HTML ファイル名(H):  例: "mypage.htm"

出版先の HTTP または FTP の場所(L):

ユーザ名(U):

パスワード(P):   パスワードを保存(S)

含めるファイル

ページに関連するファイル(F)  ページのフォルダ中のすべてのファイル(O)

現れたウィンドウの、

「ページの表題」  
「HTMLファイル名」

の欄には既に必要な情報が入っていると思う（既に欄に入っている情報を、ここで訂正しても良い）。

あとはそれ以外の欄 とりあえずは次の3つ を埋めれば良い。

「出版先の HTTP または FTP の場所」

これは、学生さんなら

ftp://furuyuu.edu.cc.saga-u.ac.jp/home/student/gakubu\_id/user\_id/public\_html/

である。ここで、gakubu\_id は

経済学部 eco  
農学部 ag  
文化教育学部 pd  
理工学部 se  
留学生センター isc

である。

佐賀大学の教職員ならば、

ftp://furuyuu.edu.cc.saga-u.ac.jp/home/staff/user\_id/public\_html/

となる。

以上で user\_id というのは、みなさんのアカウント名である。  
このアカウント名は次の

「ユーザ名」

にも入れる（予め入ってる場合もあると思う）。

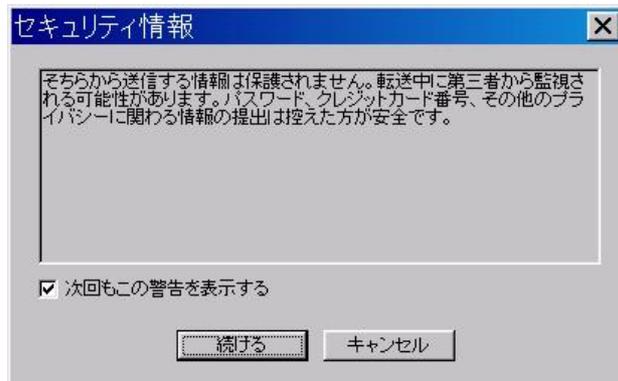
最後に

「パスワード」

の欄にパスワードを入れる。なお、この欄の右に「パスワードを保存」というチェックボックスがあるが、セキュリティ

上の理由からこれにチェックすべきでない。

以上の各欄を入力したなら、「OK」ボタンを押そう。人によっては、



というパネルが現れるかもしれない。パスワードを特に暗号化せずに送ることになるので、こういうメッセージが現れるのである。ここでは、そういうリスクを伴った作業を今やっているのだと認識して続行しよう（「続ける」ボタンを押そう）。いずれは（SSHプロトコルを用いて）もっと安全にファイル転送すべきである。

特にエラーメッセージが現れず



と表示されたならば、furuyy.edu.cc.saga-u.ac.jp というウェブサーバ（自作ウェブページ置き場）に自分のファイルが置かれたことになる。つまり先ほど作ったウェブページがネットワークに対しアクセス可能な状態 公開された状態 になっている。

### 3.10 アクセスしてみよう

では、本当にアクセスできるかをチェックしてみよう。アクセス方法は2.1節（「[ブラウザの立ち上げ](#)」の節）をもう一度見て下さい。アクセスする場所は、

学生さんも教職員も

[http://userwww.cc.saga-u.ac.jp/~user\\_id/a.htm](http://userwww.cc.saga-u.ac.jp/~user_id/a.htm)

となる。（user\_id の前に半角のチルダ記号「~」が必要なことに注意！！）

以上のアクセスの場所は、前節の3.9節（「[いよいよ「出版」！！](#)」の節）でのftpの場所とは違うことに注意！！

うまくいっていれば、次のように問題なくアクセスできるはずである：



### 3.11 その他の機能

さて、ひとたび出版の要領が分かってしまったなら、composerの他の機能も使ってみたくなるだろう。そのいくつかを最後に紹介してこの文書を終えよう。(本稿で扱う機能以外については各自調べてみてください。)

### 3.11.1 横罫線



の黒で囲った横罫線ボタン  を押すと横罫線を引くことが出来る。たとえば先の図で「まずはとにかく何か文を書いてみましょう。」と書いた後に横罫線ボタンを押すと、



というふうになる。

### 3.11.2 箇条書きを書くには？



の黒線で囲った  というボタンを押せば、「箇条書きモード」とでもいうべきモードに入る。このモードを使って、

箇条書きも、以下のように簡単に書けます。

- これが箇条書きの一つ目。

のように箇条書きを書くには、「箇条書きも、以下のように簡単に書けます。」という行を入力した後、改行して( Return キーあるいは Enter キーを押して)  ボタンを押すと良い。

すると、箇条書きの記号(「・」)が行の頭に現れる。続けて「これが箇条書きの一つ目。」と入力したものが先の図になる。

「これが箇条書きの一つ目。」の行末で改行すると、次の行頭にも箇条書き記号が出現し、箇条書きの2行目を書く準備ができる。

箇条書きも、以下のように簡単に書けます。

- これが箇条書きの一つ目。  
・|

2行目の箇条書きを終えて改行すると、またもや次の行の頭に箇条書き記号が現れる。箇条書きは2行で充分、という人にとっては悪夢だ。

箇条書きも、以下のように簡単に書けます。

- これが箇条書きの一つ目。  
•上の文の最後でリターンキーを押すだけで、このように箇条書きの2つ目になります。|

箇条書きを2行だけで終わりたいならば、3行目の箇条書き記号が現れた時点で再び  ボタンを押すと良い。そうすると箇条書きモードはオフになる。(次の図で、カーソルの位置が一番左に移動したのがわかりますか?)

箇条書きも、以下のように簡単に書けます。

- これが箇条書きの一つ目。
- 上の文の最後にリターンキーを押すだけで、このように箇条書きの2つ目になります。

|

この状態で続けて、文字を入力すると

箇条書きも、以下のように簡単に書けます。

- これが箇条書きの一つ目。
- 上の文の最後にリターンキーを押すだけで、このように箇条書きの2つ目になります。

もう一度「箇条書きボタン」を押すと、この行のように箇条書きが解除されます。|

というふうに、箇条書き以前の（横方向の）位置　つまり一番左　から文字を書くことができる。

### 3.11.3 リンクを加える方法

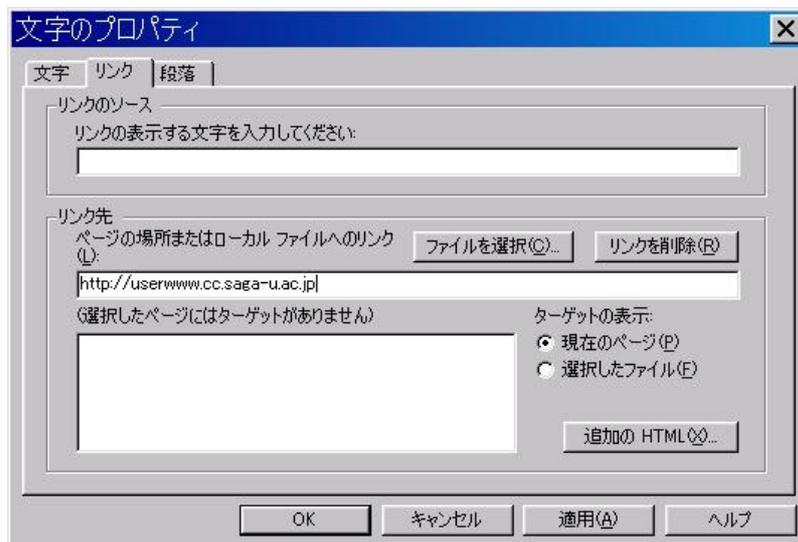
HTML の 特長の一つは他のウェブページをリンクできることである。Composer を使うとリンクも以下の 2 行目に示すように簡単にできる。

この下の行にリンクを貼りましょう。  
<http://userwww.cc.saga-u.ac.jp> |

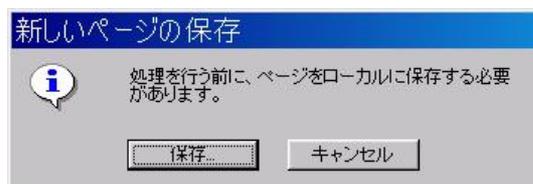
このようなリンクを作るには、「この下の行にリンクを貼りましょう。」と書いた後に改行する。それから



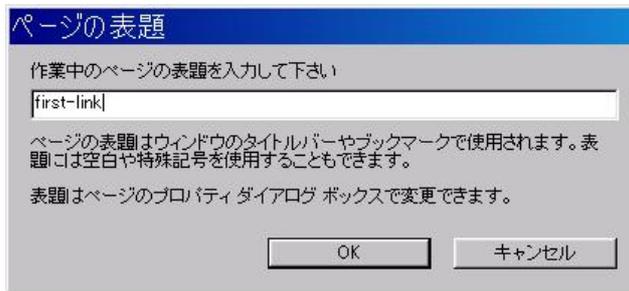
の黒線で囲ったボタン  を押す。すると、



のようなウィンドウが現れるので、「ページの場所またはローカルファイルへのリンク」と書かれている下の空欄に、リンクしたい URL を書く。ここでは皆さんのウェブページを公開するマシンのトップページ <http://userwww.cc.saga-u.ac.jp> にしてみよう。URL を書いて OK ボタンを押すと、



というウィンドウが現れて「(今編集中の) ページを保存せよ」と言われる。「保存」ボタンを押していつものように保存しよう。その際、



というウィンドウが出て「ページの表題をつけよ」と言われるかもしれない。適切なものをつけてほしい。それが終われば、3.8 節(「[できあがりの確認](#)」の節)と同じく、「プレビューボタン」を押して確認してみよう。

この下の行にリンクを貼りましょう。  
<http://userwww.cc.saga-u.ac.jp>

この 2 行目のリンク(下線が引かれている)上でマウスを左クリックすると、リンク先へジャンプするはずである。

---

日永田 泰啓(佐賀大学 学術情報処理センター)

本稿は、vine linux(ver.2.1CR)上の emacs(ver.20.7.2)によって RD で書き、rd2html-ext-0.1.2 により HTML に変換し、Acrobat で WebCapture して印刷したものです。

---